

# 実践日本語教育研究会

2025 年度 立命館大学大学院学生研究会活動支援制度 研究成果報告

## 本研究会の目的

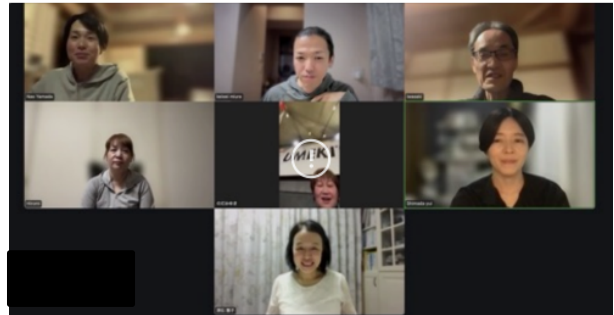
- ・日本語教育の現場で感じた問題意識や事例を持ち寄り検討・研究を行う。
- ・読書会や論文購読会、発表を通して、日本語教育学の知見と理解を拡充する。
- ・研究会を通して身につけたものを、実際の日本語教育現場での実践に活かす。

## 活動報告

- ・月 2 回の定例会（論文購読・意見交換）を継続してオンラインで実施した。
- ・講師を招き、公開パネルディスカッションを行った。（北出慶子先生）
- ・各自の研究成果について報告会を定期的  
に開催した。
- ・学会へ積極的に参加し、そこで得た知見を  
都度研究会内で共有した。
- ・メンバーの学会発表練習などを行なった。



パネルディスカッション「インタビューを考える」  
2025 年 10 月 13 日



zoom での研究会の様子

## 活動成果

研究会での学び合いを通じて知識や見解を深め、各自が日本語教育の現場における課題を研究として形にすることができた。

- ・三浦景星「ベトナム人日本語学習者の促音知覚 一脳波に現れる事象関連電位 P300 を指標として」：日本語教育学会春季大会(2025)にて口頭発表し、若手優秀発表賞を得た。
- ・各自が修士論文を執筆・提出した。